

災害時における支え愛地域づくり推進事業 ～地図を真ん中に置いた住民座談会～

もし、今災害が発生したら・・・皆さんの集落は大丈夫ですか？
自分の集落のどこにどんな人が住んでいるのか、もし災害が起きてしまったときに助けが必要な方がどこにいるのか・・・分からないことにはどうしようもありません。平成 28 年 10 月に発生した鳥取県中部地震の際、以前から支え愛マップ作りに取り組んだ倉吉市の自治会では、そのマップの内容をもとに助けが必要な方を避難所まで誘導したり、安否確認をおこなったりとその効果を発揮しました。災害時における支え合いは普段からの支え合い、見守りが元となります。まずは集落で、どのような支え合いが必要なのか、地図を真ん中において住民同士で話し合う場を作ってみませんか？



○内容（例）

- ①導入講義（説明と内容の共有、雰囲気づくり）
- ②集落歩き（日中に集落内の危険個所を実際に歩いて確認する。土日開催可）
- ③マップ作成（マップの完成が目的ではありません。あくまでも地図を真ん中に置いた住民座談会です）

せっかく、地図を真ん中に置いた座談会をしてみるなら・・・
災害時における支え愛地域づくり推進事業補助金を活用
してみませんか？ 1 集落 50,000 円以内の補助金です。

開催内容・補助金等の詳細については、下記までご連絡下さい。

※県より鳥取県自主防災活動アドバイザーに来てもらい、集落の実情に応じたアドバイスをもらうことができます。謝金はかかりません。

伯耆町社会福祉協議会 ☎ 68-4635（担当：仲村）